

事務事業名	有害鳥獣等対策費										担当課	部課名	環境部環境保全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	03	細目	003	説明	01	課等の長	関野 修二	電話	3132

1. 事業概要

事業開始年度	平成 13 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務
事業概要	傷病野生鳥獣を保護するとともに、生活被害の防止や軽減を図るため、アライグマ等の有害鳥獣捕獲等及び第3次神奈川県アライグマ防除実施計画(以下「アライグマ防除実施計画」という。)に基づく計画捕獲を行う。				
対象	1. 個人	市民	438,968 人		
根拠法令等	法律等 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律				
事業実施内容	有害鳥獣捕獲檻の貸出し、捕獲鳥獣の処分及び傷病鳥獣の保護等並びにアライグマ防除実施計画に基づく計画捕獲処分を行った。 1.有害鳥獣捕獲実績数 204個体(アライグマ116頭、ハクビシン36頭、クリハラリス26頭、カラス(23羽、卵3個)) 2.アライグマ防除実施計画に基づく計画捕獲及び捕獲鳥獣の処分実績頭数 36頭 3.傷病鳥獣保護数 12種・43個体(アオサギ、ウミネコ、オオタカ、タヌキ等)				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 4,806 千円	事業費節別内訳				
		費目	支出済額(千円)	主要内容		
		旅費	2 千円	国、県打ち合わせ		
		需用費 委託料	99 千円 4,705 千円	鳥獣保護管理対策用消耗品 鳥獣保護管理対策・アライグマ防除実施計画捕獲業務委託		
財源内訳	R3年度 支出済額 4,806 千円	事業費節別財源内訳			3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
		費目	支出済額(千円)			
		分担金・負担金				令和3年度
		使用料・手数料	4 千円	常時勤務職員※		1.00人工
		国庫支出金		短時間勤務職員(再任用・任期)		0.00人工
		県支出金	2,082 千円	合計		1.00人工
その他()		※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く				
一般財源	2,720 千円	会計年度任用職員(配置数)	0.00人			

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
コスト	支出	行政費用 A	15,324	14,566	13,822	13,745
		(1)現金を伴う支出 (千円)	15,432	14,557	13,826	13,744
		事業費(支出済額)	5,796	4,838	5,368	4,806
		償還金利息	0	0	0	0
		人件費合計(①+②+③)	9,636	9,719	8,458	8,938
		①常時勤務職員等の給与等	9,167	9,141	7,917	8,521
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0
		③退職金相当額	469	578	541	418
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-108	9	-4	1
		①減価償却費	0	0	0	0
		②退職給与引当金繰入額	-108	9	-4	1
		③不納欠損額	0	0	0	0
		④その他()	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		35.69 429,317	33.64 433,060	31.77 435,121	31.31 438,968	
成果実績	指標名	目標	単位	実績	単位	
	上記指標名の設定ができない理由	有害鳥獣については、市内だけでなく広域的に生息し、またその行動実態等が明らかでないことから生息数の把握が難しく、目標設定ができないため。				

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価の視点と具体的内容		
評価	必要性 藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性 事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性 事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性 事務事業の公平性は高いか	高
	その他 上記評価の視点以外に、特記すべき内容	有
事業の方向性	一部見直し	
今後の方針	有害鳥獣捕獲檻の貸出し、アライグマ防除実施計画に基づくアライグマの計画捕獲及び捕獲鳥獣の処分により、引き続き、市民の生活被害の拡大防止を図っていく。さらに、アライグマ防除実施計画に基づく計画捕獲の実効性を高めるため、実施方法及び場所について再検討を行うとともに、令和4年度に策定される神奈川県クリハラリス防除実施計画に基づく計画捕獲に向けて、より効率的・効果的な業務執行を行っていく。また、引き続き、傷病鳥獣の保護及び野生鳥獣の保護・管理を行っていく。	

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	スズメバチ対策費										担当課	部課名	環境部環境保全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	03	細目	003	説明	03	課等の長	関野 修二	電話	3132

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 61 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	市民の生命を守り、生活環境の安全を確保するため、スズメバチの営巣状況の確認及び撤去を行う。				
対象	1. 個人	市民			438,968 人
根拠法令等					
事業実施内容	スズメバチの巣の撤去を行った(511件)。市民がスズメバチの巣と判断がつかない場合について、巣の調査を行った(96件)。スズメバチ以外のアシナガバチ等の巣の相談対応として、撤去方法の説明を行った(368件)。また、職員が直接現地の営巣状況を確認し、対応したものが25件あった。				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	6,244 千円	費目	支出済額 (千円)		主要内容
		需用費	16 千円		スズメバチ等駆除用消耗品
		委託料	6,228 千円		スズメバチの巣撤去等業務委託
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		令和3年度	
	6,244 千円	費目	支出済額 (千円)	常時勤務職員※	
		分担金・負担金		0.50人工	
		使用料・手数料		0.00人工	
		国庫支出金		0.50人工	
		県支出金		※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
その他 ()		会計年度任用職員(配置数)	0.00人		
一般財源	6,244 千円				

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		行政費用 A	10,951	7,981	7,734	10,714		
		(1)現金を伴う支出 (千円)	11,005	7,977	7,735	10,713		
		事業費(支出済額)	6,186	3,117	3,505	6,244		
		償還金利息	0	0	0	0		
		人件費合計(①+②+③)	4,819	4,860	4,230	4,469		
		①常時勤務職員等の給与等	4,584	4,571	3,959	4,260		
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0		
		③退職金相当額	235	289	271	209		
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-54	4	-1	0		
		①減価償却費	0	0	0	0		
		②退職給与引当金繰入額	-54	4	-1	0		
		③不納欠損額	0	0	0	0		
		④その他 ()	0	0	0	0		
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	25.51	429,317	18.43	433,060	17.77	435,121
成果実績	指標名	目標	単位	実績	単位			
	上記指標名の設定ができない理由	スズメバチの生息数の把握については、その行動実態等が明らかでないため難しく、また気象状況による影響もあることから、目標設定ができないため。						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか 県内他市町において、同等事業を市町が公費負担していない又は一部公費負担となっている場合もあるが、営巣場所の所有者又は管理者から巣撤去の同意が得られない場合、周辺の市民の生命に危険が及ぶことが想定されるため、公益性の観点から本事業の継続が必要であると考え。	中
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか スズメバチの巣の撤去業務については、所有する家や庭木等に営巣された市民からの相談で撤去を行うため、受益が一部の者に限られる場合もあるが、通学路等に営巣された場合の撤去に当たっては、営巣場所周辺の市民や通行人等の安全が確保されることから、一定の公平性があるものとする。	中
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容 市民からの相談に対し、迅速かつ的確に対応したことにより市民の生命を守り、生活環境の安全を確保することができた。引き続き、市が危険性を判断し、巣を撤去する現行の体制は重要である。	有
	事業の方向性	一部見直し	
今後の方針	スズメバチの巣は、自然環境の減少に伴い都市部の一般家庭の庭等にも作られるようになり、厚生労働省の人口動態調査(2016～2020年)によるとスズメバチ等の接触による死亡事故は、全国で11～19件程度報告されている。また、報道等で多く取り上げられることもあり、市民の関心度が高まり、多くの相談が寄せられるようになったことから、引き続きスズメバチの被害から市民の生命を守り、生活環境の安全を確保するため、営巣状況の確認や撤去等の対応を迅速かつ的確に行っていく。なお、本事業に係る制度の見直しについては、引き続き検討を行う。		

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	水質汚濁防止費										担当課	部課名	環境部環境保全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	05	細目	001	説明	01	課等の長	関野 修二	電話	3131

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 49 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	法定受託事務
事業概要	良好な公共用水域(河川、海域)の水質及び地下水質、土壌環境を保全するため、水質汚濁防止法等に基づく公共用水域の水質調査、地下水質調査及び汚染源周辺の地下水質調査を行う。また、水質汚濁防止のため、公共用水域に排出される事業所排水の規制及び監視並びに有害物質使用事業所等の指導を行う。				
対象	1. 個人	市民			438,968 人
根拠法令等	法律等	水質汚濁防止法、神奈川県生活環境の保全等に関する条例			
事業実施内容	公共用水域(法に基づく河川6地点、海域2地点及び市計画11地点)の水質調査を毎月1回及び地下水質調査(15地点)を年1回実施した。また、ダイオキシン類環境調査(河川水質14地点・底質5地点、藤沢市役所一般大気測定局)及び環境化学物質調査(河川水質・底質各2地点)を実施した。加えて、良好な水質環境の保全を達成・維持するため、水質汚濁防止法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づき、事業所に対する立入調査を実施し、排水の規制・監視・指導を行った。また、水質汚濁防止法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づき、事業所に対し地下水の調査並びに改善対策の立入指導を延べ95社に行った。				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	19,562 千円		事業費節別内訳 費目 支出済額(千円) 主要内容		
	委託料	19,375 千円	公共用水域及び地下水質調査・環境化学物質調査・ダイオキシン類環境調査業務委託			
				使用料及び賃借料	187 千円	海水浴場水質調査船舶借上料
財源内訳	R3年度 支出済額	19,562 千円		事業費節別財源内訳 費目 支出済額(千円)		
	分担金・負担金				使用料・手数料	
				国庫支出金		
				県支出金		
				その他()		
				一般財源	19,562 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	3.50人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	3.50人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		行政費用 A	52,133	48,177	47,420	47,511		
		(1)現金を伴う支出 (千円)	52,510	50,564	47,430	47,810		
		事業費(支出済額)	18,783	19,555	19,899	19,562		
		償還金利息	0	0	0	0		
		人件費合計(①+②+③)	33,727	31,009	27,531	28,248		
		①常時勤務職員等の給与等	32,085	29,449	26,070	27,162		
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0		
		③退職金相当額	1,642	1,560	1,461	1,086		
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-377	-2,387	-10	-299		
		①減価償却費	0	0	0	0		
		②退職給与引当金繰入額	-377	-2,387	-10	-299		
		③不納欠損額	0	0	0	0		
		④その他()	0	0	0	0		
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	121.43	429,317	111.25	433,060	108.98	435,121
成果実績	指標名	目標	-	-	-	-		
		実績	-	-	-	-		
上記指標名の設定ができない理由		水質環境の測定結果については、上流市等広域的な影響があり、また地下水・土壌については、汚染メカニズムが複雑であることから、目標設定ができないため。						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価の視点と具体的内容	
評価	必要性 藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか 高
	有効性 事務事業の実施手法の有効性は高いか 高
	効率性 事務事業の実施にあたり、効率性は高いか 高
	公平性 事務事業の公平性は高いか 高
	その他 上記評価の視点以外に、特記すべき内容 有 公共用水域及び地下水の水質調査により、市内の河川・海域の水質汚濁状況、及び地下水汚染状況を把握することができた。また、有害物質等を使用する事業所に立入調査を実施し、排水の規制・監視、及び有害物質の適正な使用・管理に関する指導を行うことにより、良好な水質環境及び地下水・土壌環境の保全が図られた。
事業の方向性	事業統合
今後の方針	公共用水域の水質環境及び地下水・土壌環境の保全については、市民が安心して親水できる環境が望まれていることから、引き続き、工場や事業所に対し立入調査等を実施し、排水の規制・監視、及び有害物質の適正な使用・管理に関する指導を行うとともに、環境調査を実施していく。さらに有害物質の流出等の水質事故が発生した際に、その被害を最小限にとどめるため、今後も関係機関との連携を密にし、協力体制を堅持しながら、迅速な対応を図っていく。また、地盤沈下対策費を本事業費に統合し、精密水準測量による地盤沈下量を継続(隔年実施)して把握するとともに、事業者による地下水採取量の把握及び地下水の過剰な揚水の防止に向けた啓発に努めていく。

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	大気汚染防止費										担当	部課名	環境部環境保全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	05	細目	002	説明	01	課等の長	関野 修二	電話	3132

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 55 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	法定受託事務
事業概要	大気汚染防止法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づき、大気汚染の常時監視や事業所のばい煙・悪臭の指導等を行う。 1980年10月、大気汚染防止法及び現在の神奈川県生活環境の保全等に関する条例の事務が神奈川県知事より委任された。その後、1989年に大気汚染防止法の常時監視測定事務が委任され、現在は市内5カ所に測定局を設置し、常時監視測定を行っている。				
対象	1. 個人	市民			438,968 人
根拠法令等	法律等	大気汚染防止法、神奈川県生活環境の保全等に関する条例			
事業実施内容	大気汚染防止法に基づく大気汚染の常時監視を5局(藤沢市役所、湘南台小学校、御所見小学校、明治市民センター及び藤沢橋)で実施した。また、有害大気汚染物質(3地点)及びアスベスト(4地点)、微小粒子状物質(PM2.5)の成分分析(1地点)などの大気環境調査を実施した。加えて、良好な大気環境を保全するため、大気汚染防止法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づき、事業所に対する立入調査を実施し、排出されるばい煙や悪臭の規制・監視・指導を行った。				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		主な内容
	33,093 千円	費目	支出済額 (千円)	
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)
	33,093 千円	費目	支出済額 (千円)	

委託料	23,712 千円	大気常時監視測定局保守管理・有害大気汚染物質環境調査・PM2.5成分分析業務委託
使用料及び賃借料	3,186 千円	環境監視システム装置及び測定局舎リース料
備品購入費	4,494 千円	窒素酸化物計2台、微小粒子状物質計
役務費	895 千円	環境監視システム通信料、サーベイメータ校正点検手数料
その他	806 千円	旅費、需用費

分担金・負担金	
使用料・手数料	
国庫支出金	
県支出金	
その他 ()	
一般財源	33,093 千円

令和3年度	
常時勤務職員※	3.00人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	3.00人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.00人
---------------	-------

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		行政費用 A	78,101	69,283	60,074	61,387		
		(1)現金を伴う支出 (千円)	73,164	64,621	55,755	58,559		
		事業費(支出済額)	44,255	35,465	31,227	33,093		
		償還金利息	0	0	0	0		
		人件費合計(①+②+③)	28,909	29,156	24,528	25,466		
		①常時勤務職員等の給与等	27,501	27,423	22,959	24,379		
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0		
		③退職金相当額	1,408	1,733	1,569	1,086		
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	4,937	4,662	4,319	2,828		
		①減価償却費	4,636	4,636	4,633	3,730		
		②退職給与引当金繰入額	301	26	-314	-903		
		③不納欠損額	0	0	0	0		
		④その他 ()	0	0	0	0		
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	181.92	429,317	159.98	433,060	138.06	435,121
成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位
上記指標名の設定ができない理由		大気環境の測定結果については、近隣市等を含めて広域的な影響があり、目標設定ができないため。						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	有
	事業の方向性	一部見直し	
今後の方針	<p>大気環境の保全については、市民が安心して生活する上で、空気がきれいな状態であることが望まれていることから、工場や事業所に対し立入調査等を実施し、ばい煙発生施設や水銀排出施設等の規制・監視・指導を行うとともに、継続して大気環境調査を実施していく。加えて、光化学スモッグの原因物質であるオキシダント濃度が、いまだに環境基準を達成していないことから、引き続き事業所に対して、原因物質である揮発性有機化合物の排出抑制対策の指導を行っていく。微小粒子状物質(PM2.5)については、引き続き成分分析を実施することで原因物質の排出状況を把握し、効率的な排出抑制対策につなげていく。また、特定粉じんの規制が強化されたことから、関係機関と連携して引き続き事業者に対し、周知指導を行うとともに、届出数の増加が見込まれることから、より円滑な執行体制の検討を行っていく。</p>		

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	公害関係分析費										担当課	部課名	環境部環境保全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	05	細目	003	説明	01	課等の長	関野 修二	電話	6510

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 50 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	水質汚濁防止法等に基づく事業所排水等の分析、公共用水域(河川・海域)・地下水の分析、大気中の窒素酸化物等の分析及び浄化センターの水質・汚泥等の分析を行う。 1975年に南部下水処理場(現辻堂浄化センター)内に「分析センター」として設置され、1980年に公害課分析担当として改組された。2015年には、新たに「藤沢市環境分析センター」として石名坂環境事業所敷地内に設置された。				
対象	1. 個人	市民			438,968 人
根拠法令等	法律等 水質汚濁防止法、下水道法、神奈川県生活環境の保全等に関する条例				
事業実施内容	事業所排水・公共用水域・地下水・海水浴場の水質、大気中の窒素酸化物及び浄化センターの水質・汚泥等の分析を行った。 ※分析検体数 合計15,071検体《内訳:工場・事業所 892検体、河川5,821検体、地下水531検体、海水浴場192検体、大気分析(窒素酸化物の分析)532検体、浄化センター 6,265検体、庁内各課依頼水質等分析838検体》				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 37,036 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主要内容
		需用費	6,284 千円	分析用試薬等消耗品、分析装置等物品修繕、電気・上下水道代
		委託料	551 千円	建物警備・清掃・自家用電気工作物保安管理業務委託
		使用料及び賃借料	28,067 千円	分析装置・建物等リース料
財源内訳	R3年度 支出済額 37,036 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)				
		令和3年度		
常時勤務職員※		5.50人工		
短時間勤務職員(再任用・任期)		0.00人工		
合計		5.50人工		
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く				
会計年度任用職員(配置数)		0.00人		

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
		行政費用 A	80,246	92,248	83,954	86,203			
		(1)現金を伴う支出 (千円)	83,851	89,188	83,975	86,197			
		事業費(支出済額)	34,913	35,735	37,455	37,036			
		償還金利息	0	0	0	0			
		人件費合計(①+②+③)	48,938	53,453	46,520	49,161			
		①常時勤務職員等の給与等	46,827	50,276	43,544	46,863			
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
		③退職金相当額	2,111	3,177	2,976	2,298			
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-3,605	3,060	-21	5			
		①減価償却費	0	0	0	0			
		②退職給与引当金繰入額	-3,605	3,060	-21	5			
		③不納欠損額	0	0	0	0			
		④その他()	0	0	0	0			
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		186.92	429,317	213.01	433,060	192.94	435,121
成果実績	指標名	目標	-	-	-	-	-	-	
		実績	-	-	-	-	-	-	
上記指標名の設定ができない理由		水質や大気環境測定結果については、広域的な影響があり、また地下水・土壌については、汚染のメカニズムが複雑であることから、目標設定ができないため。							

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価の視点と具体的内容	
評価	必要性 藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか 高
	有効性 事務事業の実施手法の有効性は高いか 高
	効率性 事務事業の実施にあたり、効率性は高いか 高
	公平性 事務事業の公平性は高いか 高
	その他 上記評価の視点以外に、特記すべき内容 有 事業所排水の分析、規制基準違反事業者に対する是正指導及び魚のへい死等の水質事故における河川の水質分析により、被害の拡大防止措置や原因究明が行われ、迅速かつ的確な対応が図られた。また、公共用水域・地下水・海水浴場の水質分析及び大気中の窒素酸化物分析により、市内の水質汚濁状況及び大気汚染状況を把握することができた。さらに、浄化センター及び庁内各課依頼による水質分析等を行ったことで、市としての業務の効率化を図ることができた。
事業の方向性	現状維持
今後の方針	

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	地盤沈下対策費										担当課	部課名	環境部環境保全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	05	細目	004	説明	01	課等の長	関野 修二	電話	3131

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 52 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	地下水の過剰な汲上げ等に起因する地盤沈下の未然防止のため、監視調査を行う。 昭和52年度に藤沢市内31カ所に1級精密水準点(市内中心部)を設置、昭和59年度(南部地域)及び昭和60年度(東部地域)に増設し、精密水準測量により地盤沈下の状況を把握してきた。平成22年度から、隔年で調査を行っている。				
対象	1. 個人	市民			438,968 人
根拠法令等	法律等	環境基本法、神奈川県生活環境の保全等に関する条例			
事業実施内容	神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づき、一定規模以上の地下水揚水機を保有する59事業所の地下水採取量の把握を行った。				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		主な内容	
	8,546 千円	費目	支出済額 (千円)		
		委託料	8,546 千円	地盤沈下精密水準測量業務委託	
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	8,546 千円	費目	支出済額 (千円)		
		分担金・負担金			
		使用料・手数料			
		国庫支出金			
		県支出金			1,567 千円
	その他 ()				
	一般財源		6,979 千円		
				令和3年度	
				常時勤務職員※	0.20人工
				短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
				合計	0.20人工
				※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
				会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		行政費用 A	1,907	10,164	1,173	9,659		
		(1)現金を伴う支出 (千円)	1,929	10,766	1,173	9,659		
		事業費(支出済額)	2	9,574	0	8,546		
		償還金利息	0	0	0	0		
		人件費合計(①+②+③)	1,927	1,192	1,173	1,113		
		①常時勤務職員等の給与等	1,833	1,192	1,173	1,113		
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0		
		③退職金相当額	94	0	0	0		
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-22	-602	0	0		
		①減価償却費	0	0	0	0		
		②退職給与引当金繰入額	-22	-602	0	0		
		③不納欠損額	0	0	0	0		
		④その他 ()	0	0	0	0		
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	4.44	429,317	23.47	433,060	2.70	435,121
成果実績	指標名	目標	-	-	-	-	-	
		実績	-	-	-	-	-	
上記指標名の設定ができない理由		地盤沈下は、地質の構造や地下水の利用状況等の諸条件によって発生の形態が異なることなどから、画一的な目標設定ができないため。						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価の視点と具体的内容																			
評価	<table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか</td> <td>高</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>事務事業の実施手法の有効性は高いか</td> <td>高</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>事務事業の実施にあたり、効率性は高いか</td> <td>中</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>事務事業の公平性は高いか</td> <td>高</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>上記評価の視点以外に、特記すべき内容</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>事業の方向性</td> <td colspan="2">事業統合</td> </tr> </table>	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	中	公平性	事務事業の公平性は高いか	高	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	有	事業の方向性	事業統合	
	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高																
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高																
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	中																
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高																
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	有																
事業の方向性	事業統合																		
<p>近年、既設の水準点での地盤沈下量が、低い水準にとどまっていたため、令和3年度は軟弱地盤や造成地に移設した水準点における精密水準測量を行った。これにより、当該軟弱地盤や造成地等での地盤沈下量を把握することができた。</p>																			
<p>精密水準測量の実施により、市域全体の地盤沈下の状況を把握することで、市民の生活環境及び財産を守ることに寄与することができた。さらに、令和3年度も、地下水を使用する事業者からの採取量報告制度により、過剰な汲上げを行わないよう、啓発することができた。</p>																			
<p>一度地盤沈下してしまうと、その修復が困難なことから、精密水準測量により、地盤沈下量を継続(隔年実施)して把握するとともに、事業者に地下水採取量を報告させ、過剰な地下水揚水を行わないよう啓発に努めていく。また、本事業は隔年での精密水準測量のみが主な事業となることから、柔軟かつ効率的な予算執行を目的に、水質汚濁防止費に統合をしていく。</p>																			
<p>今後の方針</p>																			

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	騒音振動防止費										担当課	部課名	環境部環境保全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	05	細目	005	説明	01	課等の長	関野 修二	電話	3131

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 52 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務
事業概要	騒音規制法・振動規制法・神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づく事業所等への立入調査及び指導、公害苦情の処理、自動車騒音常時監視調査及び航空機騒音調査を行う。				
対象	1. 個人	市民			438,968 人
根拠法令等	法律等	騒音規制法、振動規制法、神奈川県生活環境の保全等に関する条例			
事業実施内容	市民等からの公害苦情相談に対し、騒音規制法、振動規制法等の公害関係法令及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づく事業所等への立入調査を実施し、是正指導を行った。また、自動車騒音常時監視調査(6路線7区間)及び一般環境調査(4地点)並びに航空機騒音調査(県測定局2地点、市測定局3地点)を実施し、市内の状況を把握した。測定結果については、国等関係機関に報告するとともに、ホームページ等で市民に提供した。				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 8,189 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な内容
		役務費	712 千円	航空機騒音データ収集用電話料・光回線料
		委託料	1,526 千円	自動車騒音面的評価業務委託
財源内訳	R3年度 支出済額 8,189 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金	387 千円	
		その他 ()		
		一般財源	7,802 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	2.30人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	2.30人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
コスト	支出	行政費用 A	29,400	28,928	24,143	27,436			
		(1)現金を伴う支出 (千円)	29,648	28,908	24,755	27,735			
		事業費(支出済額)	7,485	6,555	6,993	8,189			
		償還金利息	0	0	0	0			
		人件費合計(①+②+③)	22,163	22,353	17,762	19,546			
		①常時勤務職員等の給与等	21,084	21,024	16,626	18,711			
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
		③退職金相当額	1,079	1,329	1,136	836			
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-248	20	-612	-300			
		①減価償却費	0	0	0	0			
②退職給与引当金繰入額	-248	20	-612	-300					
③不納欠損額	0	0	0	0					
④その他 ()	0	0	0	0					
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		68.48	429,317	66.80	433,060	55.49	435,121	62.50	438,968
成果実績	指標名	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	指標名	-	-	-	-	-	-	-	-
上記指標名の設定ができない理由		騒音・振動については、感覚公害であること、また用途地域など地域性が大きく影響していることなどから、画一的な目標設定ができないため。							

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	有
	事業の方向性		現状維持
今後の方針			

自動車騒音常時監視調査及び一般環境調査並びに航空機騒音調査を実施し、市内の騒音の状況を把握することができた。また、市民等からの公害苦情相談に対し、騒音規制法、振動規制法等の公害関係法令及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づき、事業所等への立入調査を実施し、解決に向けた是正指導を的確に行うことができた。

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------

事務事業名	公害防止事務管理費										担当課	部課名	環境部環境保全課			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	05	細目	006	説明	01	課等の長	関野 修二	電話	3131

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 49 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務
事業概要	公害関係法令や神奈川県生活環境の保全等に関する条例等に基づく申請・届出に関する受理や許認可、建築物の事前協議事務、環境関係協議会事務及び環境に関する知識普及のための環境啓発事業を行う。 1974年に水質汚濁防止法に基づく事務が委任されたことをはじめとして、公害関係法令に基づく政令市として法律及び県条例の事務が委任され、事業所に対する公害防止対策の指導を行ってきた。				
対象	1. 個人	市民			438,968 人
根拠法令等	法律等	水質汚濁防止法、大気汚染防止法、騒音規制法、振動規制法、土壌汚染対策法、神奈川県生活環境の保全等に関する条例等			
事業実施内容	公害関係法令及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例等に基づく許可申請・届出等(1,088件)に関する案件の審査を行った。 また、市民に対する環境啓発事業として、環境パネル展及び総合かがく展などに参加するとともに、環境情報の収集及び広域的な協力・連携体制の構築に向けて、神奈川県県市環境事務連絡協議会に参加した。				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 13,136 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主要内容
		需用費	8,784 千円	公害防止事務消耗品、物品修繕費、施設修繕費
		委託料	767 千円	届出書類マイクロフィルム撮影業務委託
		使用料及び賃借料	3,552 千円	公害関係届出システムリース料
財源内訳	R3年度 支出済額 13,136 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
		一般財源	13,136 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	2.00人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	2.00人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	2.00人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
コスト	支出	行政費用 A	27,706	34,402	33,237	35,359			
		(1)現金を伴う支出 (千円)	27,922	34,384	33,245	35,961			
		事業費(支出済額)	4,320	10,617	12,458	13,136			
		償還金利息	0	0	0	0			
		人件費合計(①+②+③)	23,602	23,767	20,787	22,825			
		①常時勤務職員等の給与等	18,334	18,282	15,834	16,450			
		②会計年度任用職員の報酬等	4,330	4,330	3,871	5,623			
		③退職金相当額	938	1,155	1,082	752			
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-216	18	-8	-602			
		①減価償却費	0	0	0	0			
		②退職給与引当金繰入額	-216	18	-8	-602			
		③不納欠損額	0	0	0	0			
		④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		64.54	429,317	79.44	433,060	76.39	435,121	80.55	438,968
成果実績	指標名	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	上記指標名の設定ができない理由	公害関係事務における指導が水質環境や大気環境に寄与することは明らかではあるが、広域的な影響があり、目標設定ができない。							

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	有
	事業の方向性	一部見直し	
今後の方針	公害関係法令や神奈川県生活環境の保全等に関する条例等に基づく許可申請・届出等に関する事務及び建築物の協議事務については、対象となる作業施設や規制項目等が、複雑で多岐にわたるが、日頃から職員の知識・技術の向上を図り、今後とも厳正に審査していく。また、環境フェア及び総合かがく展、リサイクルプラザ藤沢フェアなどに積極的に参加し、環境保全事業の取組について広く市民に周知・啓発を図る。また、柔軟かつ効率的な予算執行を目的に、公害防止費の各細目の旅費・燃料費を統合し一元化を図っていく。		

6. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------